

令和4年第9回室蘭市教育委員会定例会

会議録

令和4年第9回室蘭市教育委員会定例会

1 日 時 令和4年9月21日(水)
開会 午後4時00分
閉会 午後5時00分

2 場 所 室蘭市役所 2階大会議室

3 本日の議事日程

日程	番号	件 名
第1		会 議 録 署 名 委 員 の 指 名
第2	報告第1号	令 和 4 年 第 3 回 室 蘭 市 議 会 定 例 会 議 事 内 容 に 関 す る 件
第3	報告第2号	室 蘭 市 教 育 委 員 会 1 0 月 行 事 予 定 の 件
第4	報告第3号	教 育 機 関 等 に 対 す る 寄 附 採 納 の 件
第5	報告第4号	室 蘭 市 芸 術 文 化 表 彰 の 件
第6	報告第5号	室 蘭 市 青 少 年 及 び 青 少 年 育 成 者 表 彰 の 件
第7	報告第6号	室 蘭 市 ス ポ ー ツ 表 彰 の 件

4 出席委員 伊藤教育長 稲川委員 奈良委員 前田委員 定廣委員

5 説明員 坂口教育部長 高田教育指導参事
船橋総務課長補佐 椎名指導主事 棟方指導主事
山口学校教育課長 山崎生涯学習課長
本野学校給食センター所長 伏見図書館長

伊藤教育長

ただ今から、令和4年第9回室蘭市教育委員会定例会を開会いたします。日程第1「会議録署名委員の指名」を行います。本日の会議録署名委員に奈良委員を指名いたします。よろしくお願いいたします。

次は、日程第2「報告第1号 令和4年第3回室蘭市議会定例会議事内容に関する件」を議題といたします。

事務局の説明をお願いします。

坂口教育部長

それでは「報告第1号 令和4年第3回室蘭市議会定例会議事内容に関する件」について、ご説明いたします。報告第1号別紙をご覧ください。

このたびの第3回市議会定例会は、9月5日から10月3日までの会期29日間で開催されているところですが、一般質問は、9月12日に終了しております。今回の一般質問では、10人中7人の議員から教育行政に関わる質問がありました。質疑の議事内容は、各ページに質問要旨と答弁内容を載せてございますが、時間の関係上、主な質問項目の概略を説明させていただきますので、よろしくお願いいたします。

はじめに、1ページから6ページまでは、市政結和の鈴木和彦議員からの質問で、部活動改革、スポーツ振興などについての質問があり、部活動コーディネーターについて、今後、地域移行に向けた関係団体との協議の中で必要性を検討していく旨、外部指導者制度について、情報収集に努め、学校、関係団体と連携して準備に取り組む旨、スポーツの大会、合宿誘致について、各競技団体、主催者、チームへのアンケート調査など、ニーズ把握に努める旨、高校総体について、令和5年度のフェンシング、令和6年、7年の女子サッカーについて、準備を進めている旨、などを答弁しております。

次に、7ページから15ページは、公明党室蘭

市議会の砂田尚子議員からの質問で、学校の未来像、学力向上などについての質問があり、これからの学校づくり検討委員会の報告書における白鳥台地区の義務教育学校に関する提言に対する今後のスケジュールについて、白鳥台地区の関係者と協議会を立ち上げ、意見交換、協議を行い、今年度中に市教委として方針を決定したい旨、その後、蘭中、蘭西地区に関しては、令和5年度中に協議会を立ち上げたい旨、第三期学力向上基本計画に換わり、令和5年度から「こども未来指針」を策定する予定で、その案を12月議会にお示しする旨、などを答弁しております。

次に、16ページから18ページは、市民ネット・むろらの佐藤潤議員からの質問で、発達障害に関する質問があり、発達障害の特性がみられる児童生徒が増加傾向である旨、特別支援学級の教室について、一部、教室を区切って使用することもあるが、学級ごとに1教室を基本としている旨、などを答弁しております。

次に、19ページから21ページは、市政結和の金濱元一議員からの質問で、白鳥台地区の学校施設利用の考え方などの質問があり、義務教育学校等についての結論は今後の議論の中で出すこととなりますが、開設後間もない白蘭小学校の施設の有効活用を優先的に学習環境の確保や、教育的な効果を考慮して検討していく旨、などを答弁しております。

次に、22ページから29ページは、市民ネット・むろらの滝口絃子議員からの質問で、コミュニティスクール、小中一貫教育などの質問があり、地域コーディネーターの必要性について、まずは、生涯学習課が学校運営協議会に参画して、コーディネート機能を担って行く旨、また、効率的で持続可能な体制の検討をしていく旨、小中一貫教育のスケジュールについては、学校の形に関係なく、全市で小中一体となった教育を進め、令

和5年、6年を移行期間、準備期間として、令和7年度を目標に全面的に実施を目指す旨などを答弁しております。

次に、30ページから32ページは、市政結和の岡田健一議員からの質問で、通学路の安全対策、コミュニティスクールなどの質問があり、通学路交通安全プログラムにおいて平成26年度から令和3年度まで8年間で、述べ68箇所を点検し、ガードレールの設置、信号機の移設、道路改良工事、通学路の変更のほか、交通安全指導の徹底などにより、対策を行っている旨、高校と連携したコミュニティスクールの取組みについて、道教委と連携し、取組みの可能性を協議していく旨、などを答弁しております。

次に、33ページから43ページは、日本共産党室蘭市議団の常磐井茂樹議員からの質問で、第3期学校適正配置計画、コミュニティスクールなどの質問があり、第3期適正配置計画により、教育活動や学校管理面の影響、校舎の老朽化等の課題は一定程度達成された一方で、更なる児童生徒数の減少や、いじめ、不登校への対応など、あらたな課題がある旨、その課題解決のために、小中一体となった教育、家庭、地域が参画し学校と一体となった教育が必要である旨、コミュニティスクールは、小中一体となった教育を支える土台ととらえている旨、などを答弁しております。

説明は、以上でございます。

伊藤教育長

ただいまの説明に対しまして、御質問等は、ありませんか。それでは、報告第1号は、終了します。

次は、日程第3「報告第2号 室蘭市教育委員会10月行事予定の件」を議題といたします。事務局の説明をお願いします。

船橋総務課長補佐

「報告第2号 室蘭市教育委員会10月行事予

定の件」のうち、主なものにつきまして、ご説明いたします。次のページの報告第2号別紙をご覧ください。

はじめに、学校教育課でございます。10月4日から12月1日まで就学時健康診断が㊦栗林商会アリーナにて行われます。次に、生涯学習課でございます。はじめに、社会教育では、20日に令和4年第5回社会教育委員の会が、22日に男女共生セミナー第3講が開催されます。次の文化振興・青少年では、7日から9日まで第72回市民文化祭書道連盟展が、10日に第72回市民文化祭三曲演奏会が、16日に第72回市民文化祭歌謡フェスティバルが、29日から30日まで第72回市民文化祭いけ花展が開催されます。次の民俗資料館では、16日にとんてん館寺子屋教室焼き芋と木製コースターづくり体験学習会が開催予定となっております。次の市民美術館では、4日から31日まで開館記念特別展西村喜久子展が開催されます。次のスポーツでは、23日に第42回市民ソフトボール大会が少年野球場で開催されます。次のページDENZAI環境科学館でございます。1日に天体観望会が、8日に古河電工社長小林敬一氏記念講演会が、9日から10日まで青少年科学技術振興作品展胆振地方展が開催されるほか、ファミリーサイエンスやスポットサイエンスなどが随時、開催されます。また、14日には室蘭カルチャーナイトにより、夜間に特別開館を予定しております。次の図書館では、15日に読后感想討論会小学生の部が、21日に読后感想討論会中学生の部が開催されるほか、おはなし会やステップライブラリーなどが随時、開催されます。次の港の文学館では、月を通して、港の文学館企画展室蘭市開港150年市制施行100年記念事業後期「蘇る昭和の室蘭」が開催されます。

説明は以上でございます。

伊藤教育長

ただいまの説明に対しまして、御質問等は、ありませんか。それでは、報告第2号は、終了します。

次は、日程第4「報告第3号 教育機関等に対する寄附採納の件」を議題といたします。事務局の説明をお願いします。

船橋総務課長補佐

「報告第3号 教育機関等に対する寄附採納の件」について、ご説明いたします。次のページの報告第3号別紙をご覧ください。

寄附採納は1件ございまして、日本製鋼所室蘭労働組合青年女性協議会様より、クリスマスツリー一式、金額にいたしまして10万円相当の寄附をいただいたもので、社会教育行政の推進と、えみらの賑わい創出のために活用させていただきます。

説明は以上でございます。

伊藤教育長

クリスマスツリーはどこに置く予定ですか。

伏見図書館長

エントランスの入り口の広いところに置く予定です。

伊藤教育長

高さはどれくらいですか。

伏見図書館長

約3メートルありますので、休憩スペースの天井くらいまであります。

伊藤教育長

ほかに、ありませんか。それでは、報告第3号は、終了します。

次は、日程第5「報告第4号 室蘭市芸術文化表彰の件」を議題といたします。事務局の説明をお願いします。

山崎生涯学習課長

「報告第4号 室蘭市芸術文化表彰の件」についてご説明申し上げます。

本件は、室蘭市芸術文化表彰規則に基づき、芸術文化の振興発展に功績のあった個人または団体に対し表彰するもので、本年は、1名の個人と1団体を、11月3日文化の日に、コロナ対応を図りつつ表彰したいと考えてございます。次ページの報告第4号別紙をご覧ください。

室蘭市芸術文化功労賞受賞の個人についてご説明申し上げます。丸山貴陸さんは、昭和50年代から市内に美術館を誘致する市民活動に取り組み、その中心となって活動に尽力される傍ら、空き店舗を活用したサロンを開設され、地元作家の紹介、発掘にも尽くされました。平成20年に市民美術館開館後は、「室蘭市民美術館をささえる会」の初代会長として12年間にわたり、事業運営などに多大な貢献をされているほか、本市にゆかりのある作家の作品を、私財を投じて収集するなど、多方面から室蘭美術の発展に寄与されております。

次に、室蘭市芸術文化奨励賞受賞の団体についてご説明申し上げます。室蘭書道連盟は、昭和46年8月の発足以来、51年以上にわたり、会員の技能向上を図るべく活動を続け、会員向けの定期研修会や、陶芸など他の芸術分野の団体との交流展を実施しています。また、会員個人も、多くの方が全道・全国規模の展示会で活躍しておられます。さらに、室蘭書道展や書道連盟展を毎年開催するほか、創立記念展を10年おきに開催するなど、地域住民が書道作品とふれあえる機会を数多く設けており、本市における書道の啓蒙普及に尽力されております。

以上、ご説明申し上げました1名の個人と1団体につきましては、それぞれ本市の芸術文化の分野において、振興発展に貢献し、功績が顕著な個人であること、また、奨励するにふさわしい功績を挙げ、その将来が期待される団体でありますことから、このたび、室蘭市芸術文化功労賞及び室蘭市芸術文化奨励賞の表彰者となったものでござ

います。

なお、参考といたしまして、室蘭市芸術文化表彰規則を添付してございますので、ご参照いただきたいと存じます。

説明は、以上でございます。

伊藤教育長

ただいまの説明に対しまして、御質問等は、ありませんか。それでは、報告第4号は、終了します。

次は、日程第6「報告第5号 室蘭市青少年及び青少年育成者表彰の件」を議題といたします。事務局の説明をお願いします。

山崎生涯学習課長

「報告第5号 室蘭市青少年及び青少年育成者表彰の件」について、ご説明申し上げます。

本件は、室蘭市青少年及び青少年育成者表彰規則に基づき、広く他の青少年の模範となる行い、及び、青少年の健全育成に功績のあった方に対し表彰するもので、本年は、1団体と9名の個人を、11月3日文化の日に、コロナ対応を図りつつ表彰したいと考えてございます。次ページの報告第5号別紙をご覧ください。

はじめに、青少年団体活動者表彰の受賞者1団体について、ご説明申し上げます。青少年団体活動者表彰は、3年以上の活発な活動を続けている青少年団体を表彰するものでございます。室蘭こども劇場は、昭和47年7月の発足以来、50年以上にわたり、児童文化の創造・発展と子どもの健全な成長を図るべく活動されてきました。特に、ハロウィン、クリスマス会などのイベントでは、大人会員の協力を受けて、子どもたちが自主的に活動しております。人口減少や少子化が進む中、対面活動の場を維持し、子どもの創造性や自主性を育む活動を継続してきた実績は、他団体の模範となっています。

次に、優良勤労青少年表彰の受賞者5名について

てご説明申し上げます。優良勤労青少年表彰は、職場において職務に精励し、地域社会への奉仕など、勤務年数がおおむね3年以上の方を対象に表彰するものでございます。宮島英也さん、渡邊大暉さん、藤原隼斗さん、新保貴章さん、榎本翔太さんは、職場では製品の包装作業などに従事し、熱心に職務に取り組むほか、地域の清掃活動や祭典運営などを通して、地域社会との交流も深めるなど、他の模範となっており、各々の勤務先より、推薦をいただいております。

次に、青少年育成者表彰の受賞者4名についてご説明申し上げます。青少年育成者表彰は、青少年育成関係団体において、15年以上にわたり、青少年の健全育成に貢献している方を対象に表彰するものでございます。三平富喜雄さんは、長年にわたるサッカーの指導などを通して、青少年の健全育成に貢献していることから、室蘭市スポーツ少年団より推薦をいただいております。出井悦子さんは、街頭補導パトロールや青少年の非行防止に取組み、青少年の健全育成活動に貢献していることから、室蘭警察署少年補導員連絡協議会より推薦をいただいております。菊池征児さんは、テニポンの普及活動を通して、多くの青少年の健全育成に努めてきたことから、テニポン国際交流ネットより推薦をいただいております。渡辺千賀子さんは、所属団体の行事などにおける子どもたちへの指導を通して、長年にわたり青少年の健全育成に努めてきたことから、室蘭市青少年健全育成推進協議会より推薦をいただいております。

なお、参考といたしまして、室蘭市青少年及び青少年育成者表彰規則を添付してございますので、ご参照いただきたいと思います。

説明は、以上でございます。

伊藤教育長

ただいまの説明に対しまして、御質問等は、ありませんか。それでは、報告第5号は、終了しま

す。

次は、日程第7「報告第6号 室蘭市スポーツ表彰の件」を議題といたします。事務局の説明をお願いします。

山崎生涯学習課長

「報告第6号 室蘭市スポーツ表彰の件」についてご説明いたします。

本件は、室蘭市スポーツ表彰規則に基づきまして、スポーツの振興発展に顕著な功績があった方を表彰するものでございます。報告第6号別紙に令和4年度表彰者として決定しました方々の功績等をお示ししてございますのでご覧ください。略歴は資料のとおりとなっておりますが私から簡単にご紹介させていただきます。

はじめに、スポーツ功労賞でございます。功労賞は、多年にわたりスポーツの振興発展に貢献され、その功績が特に顕著な個人または団体を表彰するものでございまして、今回は、4名の方が対象となっております。阿部誠さんは、昭和46年より室蘭柔道協会に所属し、平成30年からは会長を務められているほか、昭和53年に室蘭港北柔道少年団を設立し指導者としても競技の普及・発展に寄与されており、本市のスポーツ振興に広く貢献されております。次に、東海林史朗さんは、昭和54年より、室蘭スキー連盟の理事を務め、平成20年から副会長を務められているほか、スキー教室の講師としても多くの市民に楽しさを伝え、競技の普及・発展に寄与されております。次に、藤井重幸さんは、昭和60年より室蘭アイスホッケー連盟の理事を務め、平成22年からは副会長を兼任し現在に至っております。連盟の運営及び大会の企画もなされ、室蘭地域での競技の普及・発展に寄与しております。次に、若宮勉さんは、昭和58年より室蘭スポンジテニス協会の理事を務め、平成25年から平成30年には副会長を務めております。昭和58年の協会設立

に尽力し、交流大会の開催・運営に携わり、室蘭地域での競技の普及・発展に寄与しております。

続きまして、スポーツ賞でございます。スポーツ賞は、スポーツの分野において輝かしい活躍をした個人または団体を表彰するもので、全国規模の大会で優勝、準優勝した方を対象としてございまして、今回は、8名の方が対象となっております。はじめに、日本製鉄アイスホッケー部に所属する小泉智也さん、谷慎太郎さん、村上亮さん、横山恭也さん、脇本直迪さんの5名の方でございます。共に、令和4年1月に、栃木県で開催された第77回国民体育大会冬季大会アイスホッケー競技会において、北海道選手団の一員として優勝されてございます。次に、七崎凜帆さんです。七崎さんは北海道で開催された全日本ジュニアスキー選手権の大会、及び全日本スノーボード選手権大会において、18才以下の部門において3位及び準優勝となっております。次に、伊藤和也さんです。第28回全日本マスターズアームレスリング選手権大会に参加され、50歳以上85キログラム左腕部門において準優勝となっております。なお、伊藤さんにつきましては、9月27日フランスで開催される世界大会に出場を予定されております。次に、西島恭平さんです。西島さんは、東京都で開催されたK-1の大学生日本一決定トーナメントに参加され、55キログラム部門において準優勝となっております。なお、西島さんにつきましては、地元の看護学校を中退し、プロ選手として11月にデビュー予定となっております。

最後に、スポーツ奨励賞でございます。スポーツ奨励賞は、全国規模の大会で3位となった方を対象としてございまして、今回は、1名の方が対象となっております。松井繁幸さんです。松井さんは、東京都で開催された毎日テニス選手権85歳以上の部シングル部門において3位となって

ございます。

以上、13名の表彰者となっており、11月3日文化の日に、コロナ対応を図りつつ他の表彰と併せて表彰をしたいと考えてございます。

なお、参考といたしまして、室蘭市スポーツ表彰規則を添付いたしましたので、ご参照いただきたいと思います。

表彰者の報告は、以上でございます。

伊藤教育長

ただいまの説明に対しまして、御質問等は、ありませんか。それでは、報告第6号は、終了します。

その他として、事務局より説明がありますのでお願いします。

坂口教育部長

「これからの学校づくり検討委員会」の今後のスケジュール案についてご説明いたします。

先月開催された8月の定例会におきまして、「これからの学校づくり検討委員会」の報告書について説明させていただきましたが、今後のスケジュールについてはお示ししていなかったため、お示しさせていただきたいと思っております。

まず、「1学校の形について」でございますが、「これからの学校づくり検討委員会」からの報告書を受け、今後の地区ごとの方針を決めていくこととなります。順番として以下の(1)から(4)のとおり進めさせていただきたいと考えております。まず1つ目については、令和4年度中を目途に、白鳥台地区に「(仮称)白鳥台地区新しい学校教育推進協議会」を立ち上げ、地区の学校、地域の意見を聞き、当該地区の学校の形についての市教委の方針を年度内に策定していきたいと考えております。白鳥台地区は児童生徒数の減少も顕著なことから協議会は10月に立ち上げ、スピード感をもって地域と協議したいと考えております。2つ目については、令和5年度中を目途に、市教

委として「これからの学校づくり指針」を策定し、学校の形について、地区ごとの柔軟性を持った方向性や、学校、地域と意見交換を実施していく時期などについて定めたいと考えております。地区ごとの協議会を立ち上げる時期について定めることがメインになると想定しております。

3つ目は、その指針に基づき、順次、地区ごとに「(仮称) あたらしい学校教育推進協議会」を立ち上げ、それぞれの地区の学校、地域の意見を聞き、学校の形についての市教委の方針を令和9年度を目標に策定したいと考えております。

4つ目は、地区ごとに策定した学校の形の方針に基づき、必要な学校整備を実施していきます。白鳥台地区については真っ先に学校の形をつくっていきたいと考えておりますので、仮に白鳥台地区の学校の形が報告書でもあったように義務教育学校を設置すべきということで地域と合意した場合には、義務教育学校に向けた整備をスタートさせていただくことになると考えております。

次に、「2小中一体となった教育について」でございします。報告書におきまして、本市の学校教育を取り巻く課題の解消に向けたこれからの学校教育の方向性として、小中一体となった教育、家庭・地域が参画して学校と一体となった教育を進めることが重要との意見が記載されたを受け、室蘭市の全小中学校において、学校の形にかかわらず、中学校区を基盤として、小中一体となった教育を進めていきたいと考えております。まずは、令和4年度中は、現行の小中連携教育の充実を図ってまいりたいと考えております。令和5年度、6年度では、小中連携教育から小中一体となった教育への移行の準備期間として、より小中一体となった取組みを進めていきたいと考えております。令和7年度からは、室蘭市内の小中学校において、学校の形にかかわらず、全市的に小中一体となった教育を推進していくことを考えております。

次に、3 家庭・地域が参画して学校と一体となった教育についてでございます。学校だけでは、学校教育が抱える課題の解決は難しく、これからはより一層、校区にある人的・物的資源を活用し、子ども達の教育に当たる必要があると考えております。今後は、令和4年度中に全ての中学校校区においてコミュニティ・スクールが設置されますので、コミュニティスクールを活性化し、家庭・地域が参画して学校と一体となった教育を構築し、それを土台とした小中一体となった教育を目指していくことを考えております。

今後は、報告書を受けまして、この通り進むかは不透明なところはございますが、スケジュール案のとおり取り組んでいきたいと考えております。

また、お手持ちのA3の資料については、小中学校の新型コロナウイルス感染者数となっております。週ごとの人数を見ていただくと、8月中旬にピークの78人、81人が第7波のピークとなっております。そこからは減少傾向が続いておまして、9月11日から17日までは小中学校合わせて21人の感染まで下がってきております。このまま減少傾向が続くことを期待しておりますが、八丁平小学校において修学旅行で同じクラスで10人を超える感染者が出たことから、引き続き感染症対策を徹底しながら学校運営をしていただいているところでございます。

伊藤教育長

ただいまの説明に対しまして、御質問等は、ありませんか。

稲川委員

このような形で資料を出していただきありがとうございます。室蘭の小中学校における罹患者は、一学年の人数が約500、600人として、全体の人数が5000人と仮定すると、900人は約2割でしょうか。社会全体の3年間で罹患者が2000万人いるといわれていますが、今度から全

数把握がなくなり、しっかりした数が分からなくなるため、出来れば去年・一昨年と同じように出してもらえたいです。今後国は重症化の65歳以上と乳幼児だけの数を公表するのか、どのような方針で考えているのかわかりませんが、せっかくしっかりしたデータが集まっているので、約2割くらいの方が罹患しているのかなと推測はしているのですが、室蘭の小中学校での集団免疫がどれくらい出来ているのか、社会全体と同じような傾向なのか、中学生は卒業し新しく入っていくので、2回感染するといったことはそう多くはないと思うのですが、おおよそ何パーセントくらいの子どもたちが罹患しているかということデータを統計的に持っていた方がいいと思います。

現在の小中学生の全体人数はどれくらいですか。

山口学校教育課長

4800人前後でございます。去年は225人の感染者がございました。

坂口教育部長

2割以上の子どもたちが罹患している状況です。

稲川委員

今回のオミクロン株は子どもたちの間で感染が広まりましたが、軽症で済み、入院や死亡者のデータもありません。

山口学校教育課長

入院したという話はこちらも聞いたことがございません。

坂口教育部長

小中学生については、北海道への報告義務もあるので、全数把握は今後も続けてまいります。また、これからインフルエンザの全数把握もしていくので、紛らわしくなりそうな不安はあります。

稲川委員

国は、世界の感染者数データは出すのに、国内はワクチンの接種数しか出しておらず、日本での

感染者数データはなかなか出しません。今度のワクチンもオミクロンに対応したワクチンと言われているのですが、BA4や5に対応していないなど色々問題がありますが、それでもワクチンを打ってほしいため、マスコミが「オミクロンに対応している」と言ってしまうところがあります。やはり室蘭の子どもたちの罹患者数は2割くらいでしょうか。約18パーセントであると伺っております。予防効果など、日本のデータが出てくれるとありがたいのですが。

伊藤教育長

ありがとうございます。ほかに、ありませんか。

稲川委員

今朝の新聞でもありましたように、旭川市のいじめの報告が出ておりましたが、教育委員会がお願いした第三者委員会の結論が出ているのに、それに対し市長や行政サイドが色々と言っておりました。教育委員会は行政と独立して運営しないといけない立場だと思うのですが、法律的に整合性が合うものなのでしょうか。

坂口教育部長

いじめ対策推進法の中で、まずは教育委員会が調査をして報告書を出すようになっておりますが、それに対して旭川市は第三者委員会を教育機関の附属機関と立ち上げて、すごい枚数の報告書まであげてきました。登別市も第三者委員会を立ち上げたことがあり、登別市はこの段階で終わっているのですが、ご遺族が納得されない場合には、今度は市長が第三者機関を設置して再調査するよという法律の体系になっており、今回の旭川の場合はご遺族が納得されないので、市長の方で立ち上げるということになっております。ただ、既に第三者委員会でしっかりした報告書を作っておりますので、次に市長が任命する方々がどこまで調査に踏み込めるか、探すだけでも大変なのではと思っております。

稲川委員

因果関係は難しいですね。ファクターとしてあったのが何割なのか、それをはっきりさせるような記事内容に思えました。どうすれば報告書に納得してもらえるのか、社会に何を求めているのか分かりませんが、法律に基づき、第三者委員会による調査を命ずることができるということは分かりました。

坂口教育部長

マスコミがはやし立てている部分はあると思われます。旭川市の教育長も大変な思いをして一生懸命調査をされたことと思います。いじめが原因で自殺したということがはっきり書かれていないことがご遺族が納得されない理由と思われるのですが、調査された専門家の方もはっきり書くのは難しいと思います。

稲川委員

医療機関にかかった報告書が提出されなかったことを根拠に不明瞭だということも書いてありました。市長と教育委員会が対立しているような感じに思えたので、市長が第三者委員会の委員を人選するとなると教育委員会は何もアドバイスしないのかなど、教育委員会・市長・行政の関係がどうなるのかなと思いました。

坂口教育部長

法律上市長にそういった権限が与えられてしまっているので、市長もその権限がある以上これを使わないと批判を受けるので、権限を行使するという流れだと思うのですが、やはり教育委員会がしっかりとやったことに対して市長がまた再調査するのは、若干しこりが残るのかなと思います。

稲川委員

いじめ対策と重大事案が起きたときに、一緒くたにしないでもう少し分けた方がいいと思います。

伊藤教育長

今回、条例という形で整備しましたが、予防・早期発見がいじめ対策の一番の肝になると思います。いじめ対策について来年室蘭でやることは何ですか。

棟方指導主事

アンケート調査については年3回から5回にして、早期発見に努めたいと考えております。

伊藤教育長

あと、先生方の言葉遣いや対応の仕方など、室蘭の子どもたちにとって悪いモデルにならないようにしたいと考えます。

高田教育指導参事

先生方の和を大切にし、指導力に差がでないような体制をつくり、先生皆が子どもたちを守っているような雰囲気をつくっていきたいと考えます。

伊藤教育長

同じ学校でも、良い先生・良くない先生と、子どもたちがそう思うことがないように、どの先生も私たちに向かってやってくださっている姿を見せていくことを大切にしていきたいと思います。

ほかに、ありませんか。以上で、本日の日程は、全部終了いたしました。

これもちまして、令和4年第9回室蘭市教育委員会定例会を閉会いたします。

本委員会の記録に相違ないことを証するため、ここに署名する。

室蘭市教育委員会教育長 伊藤博明

室蘭市教育委員会委員 奈良泰哉

会議録調製員 坂口淳